



## 佐藤さんの小松菜



昔は体操選手だった佐藤さん。今でも1週間ぐらい準備をすれば畑でバク転なら出来るよと言います。



今の季節は防虫ネットなどで虫を除けつつ、風通しを良くすることで病気を防ぐのも大切です。

### ★土が出来ている畑で育つ健康小松菜

おかげさま農場のメンバーの中でも運動神経が抜群で、体を動かすことが大好きな佐藤さん。そんな佐藤さんは葉物部会のリーダーで、キャベツや小カブなど葉物を中心に作っています。

佐藤さんの野菜作りのポイントは何といっても「土をきちんと作ること」。堆肥は自家製で時間をかけて熟成させたものを使います。「堆肥を寝かす期間は半年じゃだめだな。1年半は寝かした方がいいな」また連作をせず、半分ぐらいの畑は緑肥を育てて休ませています。そんな畑を前に野菜作りの秘訣を聞くと「やっぱり土作りだな。土が出来ていれば、あとは何でも出来るよ」と言います。

また、9月の小松菜はみずみずしく柔らかいのが特徴ですが、スーパーなどでは細いものが10本以上入っているものが売られていることがあります。佐藤さんはその逆で「ひよろひよろしているのより、やっぱりがっしりしたのが2~3本入っている方がいいでしょ」と、冬の小松菜は5cmほど間を空けて育てるのに対し、今の時期は8cmほど間を空けて大きく固く育てています。みずみずしく柔らかく、かつシャキっとした歯ごたえもある佐藤さんの小松菜は、まさに健康野菜そのものですね。

・小松菜は葉物部会のメンバーの持ち回りで出荷していきます。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

### 【産地情報】

◎新米は10月から販売開始予定です。

◎チンゲン菜は10月中旬まで少量出荷となります。

◎ほうれん草は10/15頃、小カブとキャベツは10/18頃、大根は10/25頃から出荷開始予定です。

◎人参は近日、生落花生とミニトマトは10月上旬で終了予定です。